

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1102		
科目名	哲学 2		
担当教員	上野山 晃弘		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	1207	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－D 「市民的素養・市民的教養」市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 D P 2－A 「日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢」地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 D P 3－H 「論理的思考力・批判的思考力」理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 D P 4－I 「理解力・分析力」文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 7－C 「他者理解・倫理観・公共心」人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 グローバル感覚（15%） C1 倫理的思考・社会認識（15%） D1 市民的素養と参加（30%） H2 批判的思考（20%） I1 理解・分析と読解（20%）		
教員の実務経験	特にありません。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期～3 発展期		
科目概要・キーワード	豊かな将来社会を創造するためには、現代社会の中で深刻化する諸問題を考察し解決に導くための公共哲学の知識が不可欠です。本講義では、公共哲学の代表的な理論を学び、公共的な思考法の修得をめざします。そのことにより、現代社会で生じている諸問題を公共哲学的な観点から考察する能力を修得することが目的です。 授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 （キーワード）公共的思考法・現代社会と公共哲学・自主創造		
授業の趣旨	■副題 歴史上、哲学者たちは時代の危機を克服するために、従来とは異なる新たな思考法や価値観を自ら創造してきました。この授業では、多様な公共哲学の理論を学び、その理論的・実践的意義を探究します。 ■授業の目的 日本大学の自主創造の理念にもとづいて、公共的思考法に関する基礎知識を修得し、現代社		

	会の諸問題を公共哲学的な観点から自ら考察できるようになることを目的とします。 ■授業のポイント 講義・グループワーク・リアクションペーパーへの取り組みを通して、公共哲学的な基礎知識と思考法の修得をめざします。										
総合到達目標	■「市民的教養」、「多様な価値を受容する姿勢」、「論理的・批判的思考力」、「理解力・分析力」、「倫理観・公共心」を総合的に修得するために、多様な公共的思考法に関する知識を理解した上で、現代社会の諸問題に対する関心を深め、問題解決に向けて公共哲学的な観点から独自の考えを形成できるようになる。 ・公共哲学の基礎知識を修得し、その意味を深く考察できる（第1回～第15回）。 ・哲学者自身のことば（テキスト）を読解し、解釈できる（第2回～第12回）。 ・他の学生と意見交換（対話）を行うことができる（第2回～第12回、第15回）。 ・自らの考えを文章として論理的に表現できる（第2回～第15回）。 ・現代社会の諸問題に深い関心をもち、それを公共哲学的に考察できる（第2回～第15回）。										
成績評価方法	■リアクションペーパー15回（45%）：適用ルーブリック A1・C1・D1・H2・I1 （評価の観点）授業内容の理解力、考察力、論理的な文章力をはかります。 （フィードバック方法）授業時間中に講評・解説を行います。 ■レポート1回（55%）：適用ルーブリック A1・C1・D1・H2・I1 （評価の観点）授業内容の理解力、考察力、論理的な文章力をはかります。 （フィードバック方法）授業時間中に出題意図の説明を行います。										
履修条件	特にありません。										
履修上の注意点	「哲学」に関心と学修意欲があること（毎回の授業に参加し、リアクションペーパーに取り組む意志があること）を求めます。なお、初回にシラバスの詳細を説明しますので必ず出席してください。										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ 公共哲学を学ぶ意義 ②授業概要 シラバスの詳細について理解した上で（I1）、公共哲学を学ぶことの意義について考察できるようになる（D1）。 ③予習（120分） シラバスを熟読し、現代社会の諸問題（危機管理学部・スポーツ科学部の諸課題に関連する問題）について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容をふりかえり、現代社会において公共的思考法を学ぶ意義についてさらに考察を深める。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 公共哲学（1）カント ②授業概要 カントの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・C1・D1・H2）。 ③予習（120分） カントに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、カントの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 公共哲学（2）J.S.ミル ②授業概要 J.S.ミルの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・C1・D1・H2）。 ③予習（120分） J.S.ミルに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、J.S.ミルの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 公共哲学（3）カント・J.S.ミルとの対話 ②授業概要 カント・J.S.ミルの公共哲学について理解を深め（I1）、他の学生と意見交換（対 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ 公共哲学を学ぶ意義 ②授業概要 シラバスの詳細について理解した上で（I1）、公共哲学を学ぶことの意義について考察できるようになる（D1）。 ③予習（120分） シラバスを熟読し、現代社会の諸問題（危機管理学部・スポーツ科学部の諸課題に関連する問題）について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容をふりかえり、現代社会において公共的思考法を学ぶ意義についてさらに考察を深める。	2	①授業テーマ 公共哲学（1）カント ②授業概要 カントの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・C1・D1・H2）。 ③予習（120分） カントに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、カントの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。	3	①授業テーマ 公共哲学（2）J.S.ミル ②授業概要 J.S.ミルの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・C1・D1・H2）。 ③予習（120分） J.S.ミルに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、J.S.ミルの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。	4	①授業テーマ 公共哲学（3）カント・J.S.ミルとの対話 ②授業概要 カント・J.S.ミルの公共哲学について理解を深め（I1）、他の学生と意見交換（対
回	内容										
1	①授業テーマ 公共哲学を学ぶ意義 ②授業概要 シラバスの詳細について理解した上で（I1）、公共哲学を学ぶことの意義について考察できるようになる（D1）。 ③予習（120分） シラバスを熟読し、現代社会の諸問題（危機管理学部・スポーツ科学部の諸課題に関連する問題）について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容をふりかえり、現代社会において公共的思考法を学ぶ意義についてさらに考察を深める。										
2	①授業テーマ 公共哲学（1）カント ②授業概要 カントの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・C1・D1・H2）。 ③予習（120分） カントに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、カントの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。										
3	①授業テーマ 公共哲学（2）J.S.ミル ②授業概要 J.S.ミルの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・C1・D1・H2）。 ③予習（120分） J.S.ミルに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、J.S.ミルの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。										
4	①授業テーマ 公共哲学（3）カント・J.S.ミルとの対話 ②授業概要 カント・J.S.ミルの公共哲学について理解を深め（I1）、他の学生と意見交換（対										

	話)した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる(A1・C1・D1・H2)。 ③予習(120分) カント・J.S.ミルの公共哲学の意義について、さらに具体的な問題と関連づけて考察する。 ④復習(120分) 授業内容について理解を深め、カント・J.S.ミルの公共哲学の理論的・実践的可能性についてさらに考察する。
5	①授業テーマ 公共哲学(4) アーレント ②授業概要 アーレントの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で(I1)、その現代的意義について深く考察できるようになる(A1・C1・D1・H2)。 ③予習(120分) アーレントに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習(120分) 授業内容について理解を深め、アーレントの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。
6	①授業テーマ 公共哲学(5) ハーバーマス ②授業概要 ハーバーマスの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で(I1)、その現代的意義について深く考察できるようになる(A1・C1・D1・H2)。 ③予習(120分) ハーバーマスに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習(120分) 授業内容について理解を深め、ハーバーマスの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。
7	①授業テーマ 公共哲学(6) アーレント・ハーバーマスとの対話 ②授業概要 アーレント・ハーバーマスの公共哲学について理解を深め(I1)、他の学生と意見交換(対話)した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる(A1・C1・D1・H2)。 ③予習(120分) アーレント・ハーバーマスの公共哲学の意義について、さらに具体的な問題と関連づけて考察する。 ④復習(120分) 授業内容について理解を深め、アーレント・ハーバーマスの公共哲学の理論的・実践的可能性についてさらに考察する。
8	①授業テーマ 公共哲学(7) ホルクハイマー・アドルノ ②授業概要 ホルクハイマー・アドルノの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で(I1)、その現代的意義について深く考察できるようになる(A1・C1・D1・H2)。 ③予習(120分) ホルクハイマー・アドルノに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習(120分) 授業内容について理解を深め、ホルクハイマー・アドルノの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。
9	①授業テーマ 公共哲学(8) ヨナス ②授業概要 ヨナスの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で(I1)、その現代的意義について深く考察できるようになる(A1・C1・D1・H2)。 ③予習(120分) ヨナスに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習(120分) 授業内容について理解を深め、ヨナスの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。
10	①授業テーマ 公共哲学(6) ホルクハイマー・アドルノ・ヨナスとの対話

	②授業概要 ホルクハイマー・アドルノ・ヨナスの公共哲学について理解を深め（I1）、他の学生と意見交換（対話）した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる（A1・C1・D1・H2）。 ③予習（120分） ホルクハイマー・アドルノ・ヨナスの公共哲学の意義について、さらに具体的な問題と関連づけて考察する。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、ホルクハイマー・アドルノ・ヨナスの公共哲学の理論的・実践的可能性についてさらに考察する。
11	①授業テーマ 公共哲学（9）ロールズ ②授業概要 ロールズの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・C1・D1・H2）。 ③予習（120分） ロールズに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、ロールズの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。
12	①授業テーマ 公共哲学（10）サンデル ②授業概要 サンデルの公共哲学に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・C1・D1・H2）。 ③予習（120分） サンデルに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、サンデルの公共哲学の現代的意義についてさらに考察する。
13	①授業テーマ 公共哲学（6）ロールズ・サンデルとの対話 ②授業概要 ロールズ・サンデルの公共哲学について理解を深め（I1）、他の学生と意見交換（対話）した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる（A1・C1・D1・H2）。 ③予習（120分） ロールズ・サンデルの公共哲学の意義について、さらに具体的な問題と関連づけて考察する。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、ロールズ・サンデルの公共哲学の理論的・実践的可能性についてさらに考察する。
14	①授業テーマ 公共哲学と現代社会の諸問題（小括と理解度の確認） ②授業概要 今学期の学びをふりかえり、哲学理論の要点とその現代的意義に関して、自分の考えを論理的に表現できるようになる（A1・C1・D1・H2・I1）。授業中にまとめの授業とレポートを実施します（授業時間中に出題意図の説明を行います）。 ③予習（120分） 授業内容の全体をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習（120分） 自分の考察結果についてふりかえり、公共的思考法の現代的意義についてさらに自らの考えを深める。
15	①授業テーマ 総括 ②授業概要 今学期の学びをふりかえり、他の学生と意見交換（対話）した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる（A1・D1・I1）。 ③予習（120分） 授業内容をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習（120分）

	自分の考察結果についてふりかえり、公共哲学的な知識とその現代的意義についてさらに自らの考えを深める。
関連科目	哲学1（RMGT/SSCS1101）
教科書	授業時間内に資料を配付します。
参考書・参考URL	小寺聡（編）『もういちど読む山川倫理』（山川出版社、2011年） 小寺聡（編）『もういちど読む山川哲学 ことばと用語』（山川出版社、2015年） その他については授業時間内に指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に告知します。 ■オフィスアワー：開講時に告知します。場所はラーニングセンター（1号館2階）またはオンラインにて対応します。
研究比率	

